

特定非営利活動法人 Joint Joy 2024 年度の事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 Joint Joy

1 事業の成果

総括

2024 年度法人としての大きな動きは 2 点。1 つ目は第三者評価を実施し「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を受け、京都府からの人材育成に関する情報の入手が進んだこと、2 つ目は作業場の拡張予定が実現し、工事が開始され 1 期工事が終了したことでした。費用については国民生活金融公庫からの借入金により補填を行い、事業計画の見直しを進めました。また法人を支える職員の定着と新職員の採用など、将来を支える人材により事業運営が継続できたことは大きな収穫でした。

福祉サービス

3 月末現在 29 名の登録、1 日 20 名前後の方が通所されています。毎日元気に通われている方、調子を崩して入院されている方、ご自身の体調変化に合わせて通所されている方など様々なハンデの方が利用されていることから、お一人お一人の生活リズムや希望をふまえたうえで就労支援という取り組みを継続しました。それぞれの特性、得意と苦手を一緒に考え生かしつつ、社会との関りの中でその存在意義をご自身の中で確認し自信につながるような取り組みを大切にしました。毎日収益事業の商品を作り、販売する仕事が中心ですが、特に衛生面と作業では自分の次の人に行うことを考えて進める反復練習は、社会で生きてくための大切なスキルとして生かされていきました。そして就労支援として当初から大切にしてきた「自分で考えてみる」取り組みは、様々な場面においてご自身の思いを言葉や様相にかえて発信する機会が増え、自分らしく生きていくことに繋がりつつあります。ご家族やご本人が人としての成長や社会性などを大切に考えて当事業所を選択していただいていることもあり、一緒に学ぶ機会の多い環境は Joint Joy がこれからも大切にしていきたい視点でもあり、通所くださる利用者の方の成長に繋がっていました。

収益事業

2024 年度も継続して工賃向上につながるよう収益事業を進めたことで、平均工賃を 35,000 円台から 36,000 円台へと上げることができました。原材料等の高騰によりすべての商品の価格変更を行ったことにより弁当の販売数は約 1.5 割減少しましたが、収益的には大きな減収とならない結果となりました。弁当や菓子の製造能力が環境的に許容範囲を超えていましたが、場の拡張案が進んだことにより 2025 年度以降を見越した環境整備を行うことができました。拡張の進行中は食品製造販売ということもあり、食中毒や異物混入などの問題が起こらないように気を配ることを優先し、維持と安全に努めました。菓子部門ではスイートハートプロジェクト様からの注文が継続的にあったことで安定した収入となりました。おむすびはイベント出店を減らしていることもあり、販売数は落ち込み、組紐についても優先調達関連などへエントリーするも当選せず、ほっとハートセンターでの販売（嵐山、寺町）が主となっています。畠での収穫物は順調に進み、多品種つくりに取り組んでくれたこともあり、すべて加工販売することができています。商店街ガレージ清掃は週 2 回継続し、美化に勤めました。

就労支援事業としては、1 名一般就労を希望され取り組まれましたが、希望のようには進まず通信大学での学びに変更され自身の成長につなげられました。過去就業者 1 名は定着支援を終えて以降 3 年半になりますが継続されていることを確認しています。

人材育成

職員研修については、感染症、食中毒、虐待、障害特性、意思決定について、成年後見制度などの勉強会に参加、また職員全員で他施設の見学会を行いました。福祉以外では地域を考えるシンポジウム、業務効率化を

考える DX の基礎と意義講座などにも参加し、いろいろな視点から自分たちを振り返る機会と、学びの機会をつくりました。場の拡張を進めていく中でも、今後自分たちの働く環境を考えることや、中長期的な視点をもちながら事業を進めるという時間を共有することができたことで、今後の職員のモチベーションが上がることを期待しています。

利用者については、福祉サービスで記しているように、「考える力」をはぐくむ中で「自己を知り」「自分の気持ち（意見）を伝えることができる」という視点の成長を促すことを進めました。2024 年度もお一人お一人の目的にそって日々努力を重ねられ、「食で地域を元気にする団体」の一員として地域の方から大切にしているだけが増え、それぞれの自信に繋がっています。

地域との連携

福祉関係として・八幡市障がい者地域生活支援協議会における精神部会、就労部会メンバーとして活動、商工関係として、八幡市商工会、観光協会の活動に参加しました。利用者の支援に必要な関係機関、八幡市社会福祉協議会、市役所各機関、病院や地域包括センター、訪問看護事業所、訪問介護事業所、各支援学校などと必要に応じて連携させていただきました。

収益事業では地域企業や各種団体からの注文を頂き、地域の方に大切にしていただく機会を継続することができ、近隣の団地を中心に孤立しがちな高齢者宅への弁当配達についてもご提供できる数が現状では限界に達していますが、見守りを兼ねつつ「食」から元気なまちをつくる取り組みを継続しました。

事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
① 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業の運営	<p>○福祉サービス事業就労訓練の継続を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主製品の製造販売 おむすび 通年 10～15種 惣菜弁当 日替わりにて 1種類 焼き菓子 通年ケーキ 10～15種 クッキー 12～14種 和菓子 半生関係の菓子 2～3種 くみひも (ストラップ 靴ひも キーホルダー 眼鏡ストラップ) ・喫茶運営 (テイクアウトのみ) ・農作物の管理収穫を行い、惣菜弁当や菓子の原材料に使用しました。収穫が多い時は、店頭にて販売しました。 ミニトマト オクラ トウガラシ ピーマン かぼちゃ 玉ねぎ じゃが芋 さつま芋 等 ・自主製品の販売先 自店舗 JA 四季彩館 「旬の駅」直売所 精神科医院サロン内 インターネットによる販売 「スイートハートプロジェクト」への参加 ・定期的なアセスメントとモニタリング及び日常の支援から、個々の目的を明確にしながら個別支援計画を作成し、お一 	<p>(実施日時) 通年</p> <p>(場所) 八幡市男山竹園 八幡市岩田畑 八幡市川口畑 (その他施設外場所) その他</p> <p>(人数) 2025.3 月末現在 常勤職員 9名 非常勤 4名 ボランティア 3名 利用者 29名 (登録)</p>	<p>身体・知的・精神の手帳を持っている方と医師の診断によりサービス提供が受けられる方</p>

	<p>人お一人の目的に合わせた就労訓練ができるように進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工賃の支払いについて、評価方式を継続し個々の目的を達成していくためのやりがいにつなげていきました。 <p>2024年度支払総額 7,537,025円、工賃をお支払いし、平均工賃額は 36,517円となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクレーションを各月で行いました <p>5月 くずはモールにてお買い物</p> <p>6月 レストランでランチ（3か所に分かれて）</p> <p>7月 宇治植物園行</p> <p>8月 みんなでカレーを食べよう（調理含む） かき氷を食す（グループ別で）</p> <p>9月 スターバックスでティータイム</p> <p>11月 商店街のお祭りを盛り上げよう</p> <p>12月 手作りボーリングとお楽しみ会</p> <p>2月 鉄道博物館行</p> <p>3月 映画鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家を招いての体操教室開催 <p>○職員会議 49回開催</p> <p>法人、福祉事業、収益事業、人材育成研修、各ケース検討など運営に必要な内容を会議の中で検討、共有、実施し進めました。 常勤職員</p>		
<p>② 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業の運営</p>	<p>○指定計画相談事業を継続しました。 就労訓練を利用する方を中心に登録され、日中活動をベースに利用計画を作成しモニタリングを行いました</p> <p>○就労定着支援事業</p> <p>○その他</p>	<p>登録者 14名 利用者 14名</p> <p>登録者 0名 利用者 0名</p>	<p>身体・知的・精神の手帳を持っている方と医師の診断によりサービス提供が受けられる方</p>
<p>③ 地域と連携しながら障がい者の社会参加や自立支援を促進する事業</p>	<p>・竹園商店街会員の継続と協力。</p> <p>・八幡市自立支援協議会内の精神部会、就労支援部会に参加。</p> <p>・〃 全体会に参加</p> <p>・八幡市観光協会、八幡市商工会（商業部・女性部）の会員を継続し、情報の収集をすすめました。</p>	<p>通年 部会 各招集日</p> <p>不定期</p>	<p>身体・知的・精神の手帳を持っている方と医師の診断によりサービス提供が受けられる方</p>
<p>④ 地域住民との交流事業</p>	<p>・惣菜弁当の戸別配達…男山団地A・B・C・D棟中心に惣菜弁当の個別配達時の見守りを兼ねながら行いました。また、ルート上で可能な範囲で配達先を広げています。</p>	<p>弁当事業 毎週月～金</p>	<p>身体・知的・精神の手帳を持っている方と医師の診断によりサービス提供が受けられる方</p>
<p>⑤ 情報交換とネットワーク構築</p>	<p>・イベント販売については感染状況をみながら参加しました。 円福寺万人講 4/20 生涯学習センター開校式 5/18 就労合同フェア 6/28 2/9 医療法人社団医聖会 八幡ふれあいマルシェ 10/5 八幡市民文化祭 10/26 男山竹園商店街祭り 11/4 生涯学習フェスティバル 11/23 男山商店街祭り 11/23 三世代交流環境フェス 3/15</p>	<p>利用者 職員</p>	<p>地域住民</p>

<p>⑥ 社会福祉の増進を図るための啓発事業及び人財育成事業</p>	<p>○啓発など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店などによりハンデのある方に対する就労について啓発活動を行いました。 ・事業内容をホームページ、フェイスブックにより開示しました。 ・お弁当チラシ「J・J P o P」にて毎月近況報告を発信しました。 ・ニュースレター「Joy たより」の発行。 <p>○人材育成、地域取り組みなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内研修 <ul style="list-style-type: none"> 安全運転確認勉強会 4月 感染症・食中毒まん延防止 虐待、身体拘束勉強会 業務継続関係 避難訓練 ・外部研修 <ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度 就業支援基礎研修 相談支援研修会 スエーデンの福祉政策 虐待防止に関わる研修会 地域生活支援協議会開催研修関係 福祉からみた生産性向上とは 双極性障害、睡眠障害、摂食障害 食品衛生責任者講習会 就労選択支援について 中小企業向け実践 DX 講座 やわたまちつくりシンポジウム 知的障碍者の意思決定支援 ・施設見学 <ul style="list-style-type: none"> 友愛ハウス ガンバカンパニー こぶしの会生駒福祉会日和カフェ ・合同求人 八幡市合同企業説明会 	<p>通年</p> <p>毎月</p> <p>2回</p> <p>4月</p> <p>5.1月</p> <p>10.2月</p> <p>8/9</p> <p>9/10. 13. 20</p> <p>9/24</p> <p>10/2. 10</p> <p>10/31</p> <p>6/27. 11/1. 12/6. 11/5.</p> <p>1/17. 2/20</p> <p>12/13</p> <p>12/14</p> <p>12/9</p> <p>1/23</p> <p>1/16</p> <p>2/16</p> <p>2/19</p> <p>7/10</p> <p>11/15</p> <p>1/30</p>	<p>地域住民 企業 利用者 法人関係者</p>
<p>⑦ その他、法人の目的を達成するために必要な事業</p>	<p>作業場の拡張事業</p>		